



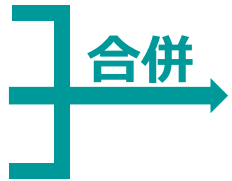
有機系地域資源リサイクルによる 循環経済社会構築を目指して

Well Create Co., Ltd.
株式会社ウエルグリエイト
松尾 康志

株式会社ウエルグリエイト

本社所在地 福岡県北九州市若松区向洋町10番1
TEL 093-752-5300 FAX 093-752-5303
URL <https://www.well-c.co.jp>

発 足

楽しい株式会社		令和 2 年 4 月 1 日発足
株式会社ケミカルグリエイト		
株式会社メリーズ・ジャパン		

代表者

代表取締役会長 松尾 康志
代表取締役社長 中原 信子

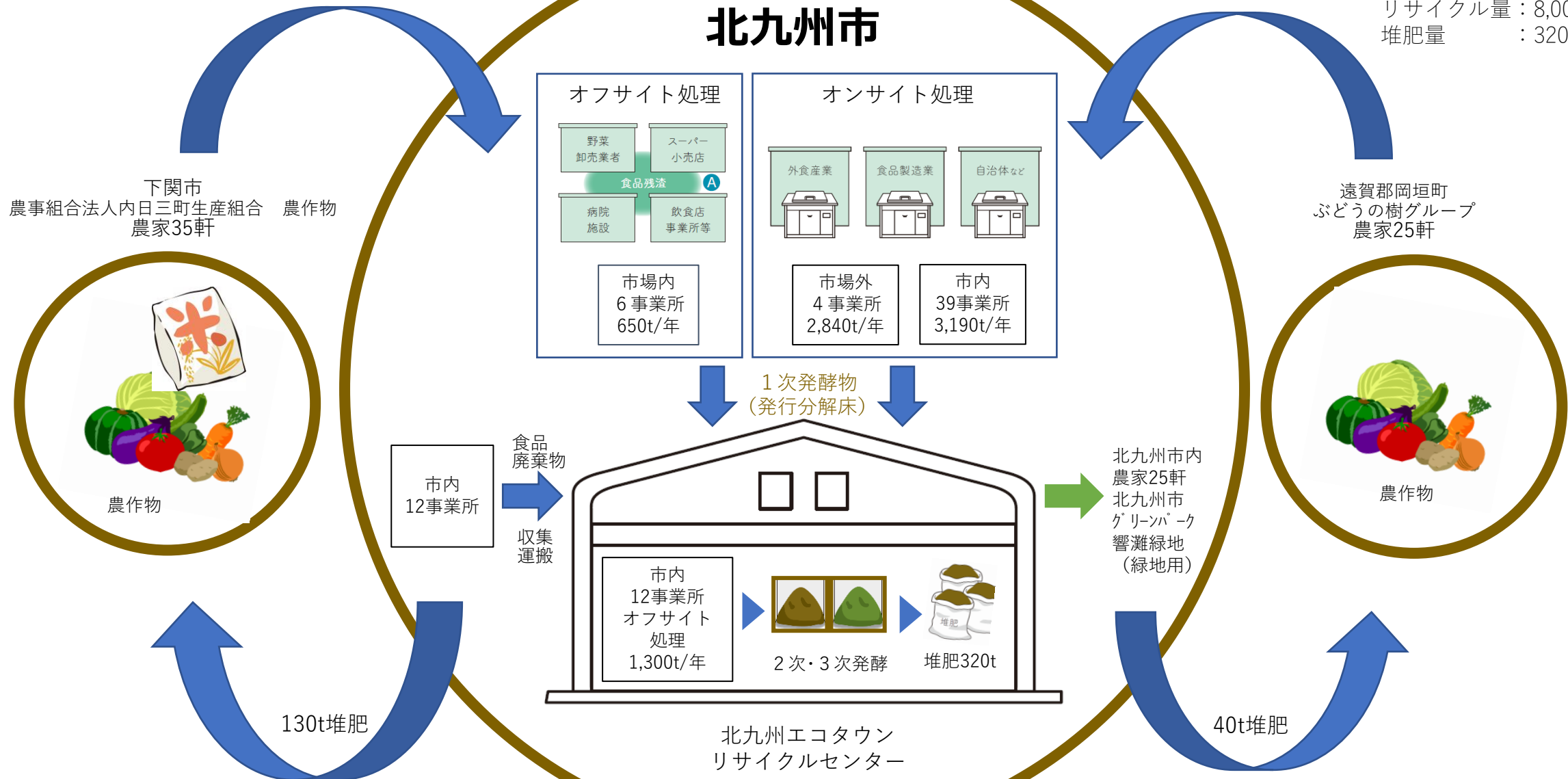
事 業

メリーズシステム事業 ～地域食品資源循環ソリューション～
エアーウォッシュ事業 ～室内環境改善ソリューション～

北九州市を中核とした 食品循環資源の地域循環共生圏

北九州市内
参加事業所数：61事業所
リサイクル量：8,000トン/年
堆肥量：320トン/年

北九州市



農事組合法人
内日三町 （下関市）
生産組合



平成30年度は堆肥を130t使用し、循環米を65t生産（前年比130%）、すべてを北九州市内のリサイクルループに参加する事業所で消費。本年度は80 t の予定。

楽しい産直市場
（北九州市）



地元スーパー「カーニバル」内にある地元農家の野菜を集めた産直の売場。店舗から発生する食品残渣をリサイクルし、地元農家28軒が堆肥を使用し循環野菜を栽培、産直市場に出品。
楽しい産直市場の年間売上20,000千円

北九州市中央卸売市場
（北九州市）



市場の市民感謝デーにおいて、青果残渣からリサイクルされた堆肥を無料配布。食品リサイクルへの取組みの普及啓発に努めている。

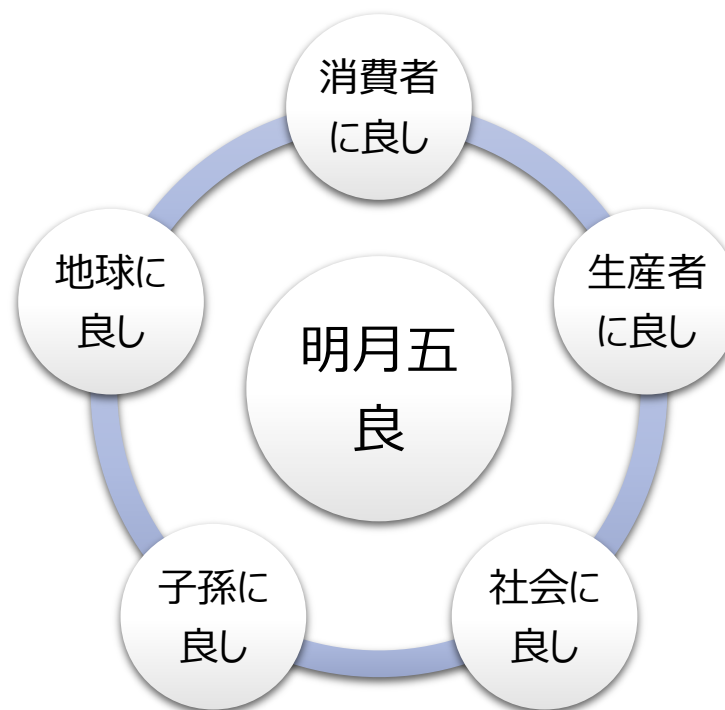
協働

北九州市中央卸売市場 (場内・場外官民一体)



リサイクル量 : 場内⇒650t/年
場外⇒2,800t/年
合計 3,450t/年

全国各地の知的障害者施設 生活介護事業所



製造量⇒30,000本

若松のお土産コンテスト
【ぐっどアイデア賞】
本格循環芋焼酎 明月五良



食品循環資源の地域循環共生圏の全国及び海外への普及に向けた様々な支援

- 平成 27 年度 **北九州** エコプレミアムいち押しエコサービス
「食品廃棄物地域循環圏形成サービス」
- 平成 27 年度 **農水省・経産省** 中小企業新事業活動促進法認定
「民設民営(PFI)方式地方自治体向け食品廃棄物地域循環圏形成サービス事業」
- 平成 27 年度 **環境省** エコタウン等における資源循環社会と共生した低炭素地域づくり事業
「北九州市と近郊地域における食品廃棄物地域循環圏形成事業化計画策定事業」
- 平成 28 年度 **北九州市** アジア低炭素化センター中小企業環境ビジネスアジア展開支援事業
環境省 「低炭素型廃棄物処理支援事業(地域循環圏)
「北九州市中央卸売市場における最適な青果物残渣地域循環圏構築事業化計画策定事業」
- 平成 29 年度 **JICA** 中小企業海外展開支援事業 案件化調査
「マレーシア国 食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの構築に係る案件化調査」
- 平成 30 年度 **JICA** 中小企業海外展開支援事業 普及・実証・ビジネス化事業
「マレーシア国 食品系廃棄物の堆肥化およびリサイクルループの構築に係る実証事業」
- 令和 2 年度 **北九州市** アジア低炭素化センター中小企業環境ビジネスアジア展開支援事業
「マレーシア国における安全な野菜の安定確保と栄養状態の改善に資するサプライチェーン構築の為
の調査事業」
- 令和 2 年度 **経済産業省** 地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業
「有機系地域資源リサイクルによる循環社会構築のための実証事業」

地域食品資源循環ソリューションの狙い（志）



食品系残渣を農地に戻し、農作物へ還元していく
リサイクルループを拡げていく



廃棄物の処分費用より安価にソリューションを提供し、
お客様のコスト削減と環境負荷の低減を実現

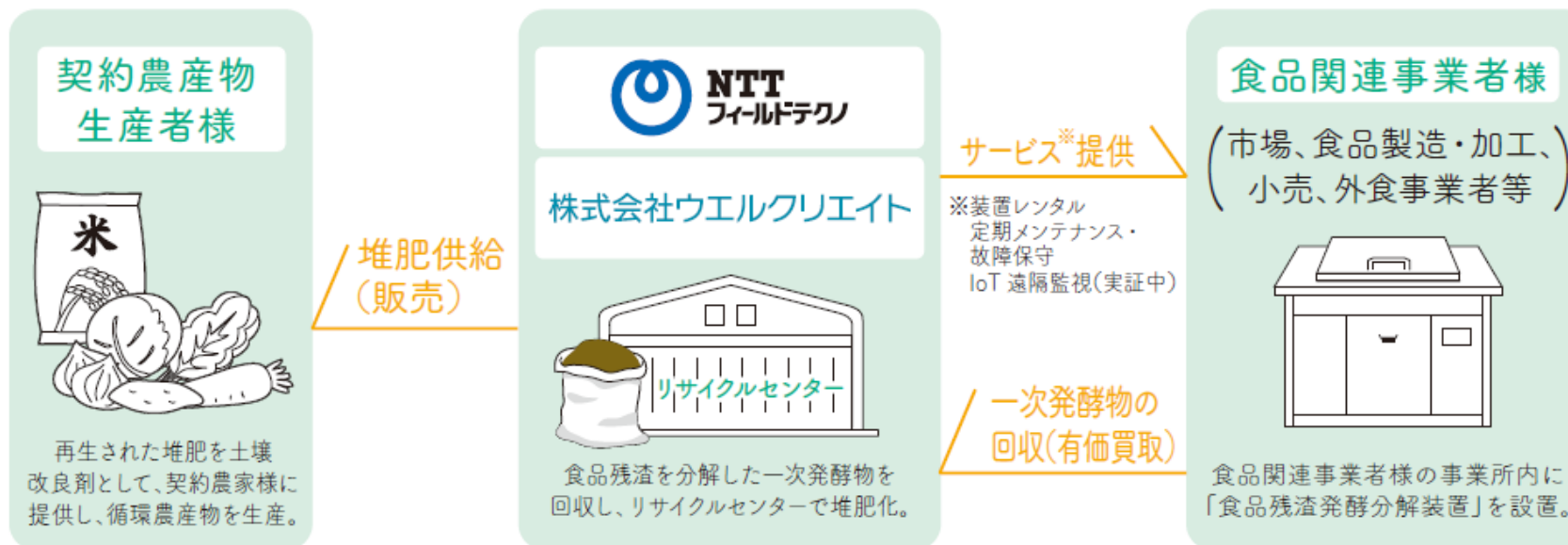


食品資源リサイクルループ実現により、地域における
経済的な繋がりを強め、地域経済を活性化する

ソリューションの概要

メリーズシステムのサブスクリプションサービスとは

- 食品関連事業者様へ「食品残渣発酵分解装置」を含む必要な装置・機能をサブスクリプションサービスで提供。
(サブスクリプションサービス=月額定額制サービス)
- 初期投資不要※。廃棄物処理に代えて、サービスに加入するのみ。 ※設置条件によっては初期費用が必要になる場合があります。



IoTを活用した効率的運用管理の実現

⇒ 発酵環境を遠隔より監視、障害の早期検知
全国保守拠点を活用した装置メンテナンス、
発酵物の効率的な収集

有機系地域資源リサイクルによる 循環経済社会構築を目指して



令和2年度 経済産業省
地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業



有機系地域資源リサイクルによる 循環経済社会構築を目指して



■ 生物性分析

● 土壌バイオマス評価

1. 全炭素量 (TC)
2. 全窒素量 (TN)
3. 全リン量 (TP)
4. 全カリウム量 (TK)
5. C/N比
6. C/P比

● 環境バクテリア量

(Environmental DNA; eDNA)

7. バクテリア数

● 窒素循環評価

8. アンモニア酸化活性
9. 亜硝酸酸化活性
10. 窒素循環活性

● リン循環評価

11. フィチン酸分解活性

■ 化学性分析

12. 硝酸態窒素
13. アンモニア態窒素
14. 水溶性カリウム
15. 水溶性リン酸
16. EC値
17. pH

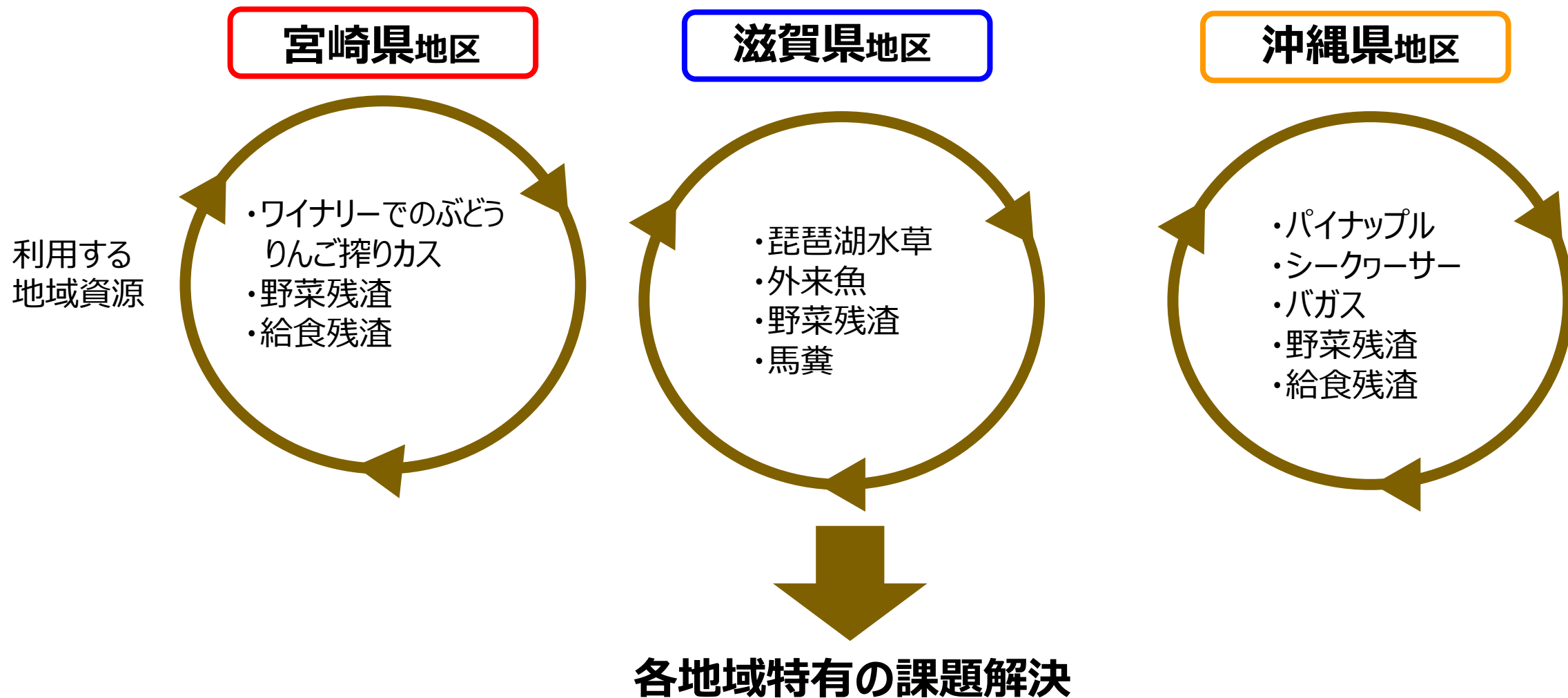
■ 物理性分析

18. 含水率
19. 最大保水容量

有機系地域資源リサイクルによる 循環経済社会構築を目指して



有機性地域資源リサイクルによる 循環経済資源の地域循環共生圏





マレーシア国における安全な野菜の安定確保と 栄養状態の改善に資する サプライチェーン構築のための調査

© 株式会社ウエルグリエイト

松尾 康志

海外（マレーシア）展開を計画した背景

マレーシアの課題と取組

- 肥満問題
 - 肥満率（BMI）がアジアの中でも高く現在も増加傾向にある。
- 生野菜摂取に対する消費者意識が向上
 - 健康維持への関心から野菜の摂取など食生活の改善意識が芽生えている。
- 生野菜に対する信頼性
 - 農薬や化学肥料を使った栽培が盛んで、野菜への信頼性が低い。
- 国産野菜の品質と安全性の向上に対する農業局の取組
 - ① 農業局が定める農業生産管理（GAP）を実施する農家の認証制度（SALM）を制定し、国産野菜の品質を高めようとしている。
 - ② 有機認証野菜（SOM）制度を制定し、有機農業普及を図ろうとしている。

（出典：・日本医療・健康情報研究所保健指導リソースガイド

・ <https://vegetable.alic.go.jp/yasaijoho/kaigai/1004/kaigai1.html>）

- **キャメロンハイランド JICA普及実証事業**

パッケージカット野菜の製造販売ビジネス展開の戦略

有機野菜・品質管理・健康維持・リサイクル



社会貢献

- (1) 有機栽培された安全・安心な野菜を使用
(野菜残渣から堆肥を作り農家へ供給)
- (2) 徹底した品質管理による製品化
(加工・輸送・販売面における品質管理)
- (3) 安全・安心の生野菜摂取による健康維持
(食生活改善による健康維持)
- (4) パッケージカット野菜工場から出る残渣の全量リサイクル
(リサイクルループの構築)

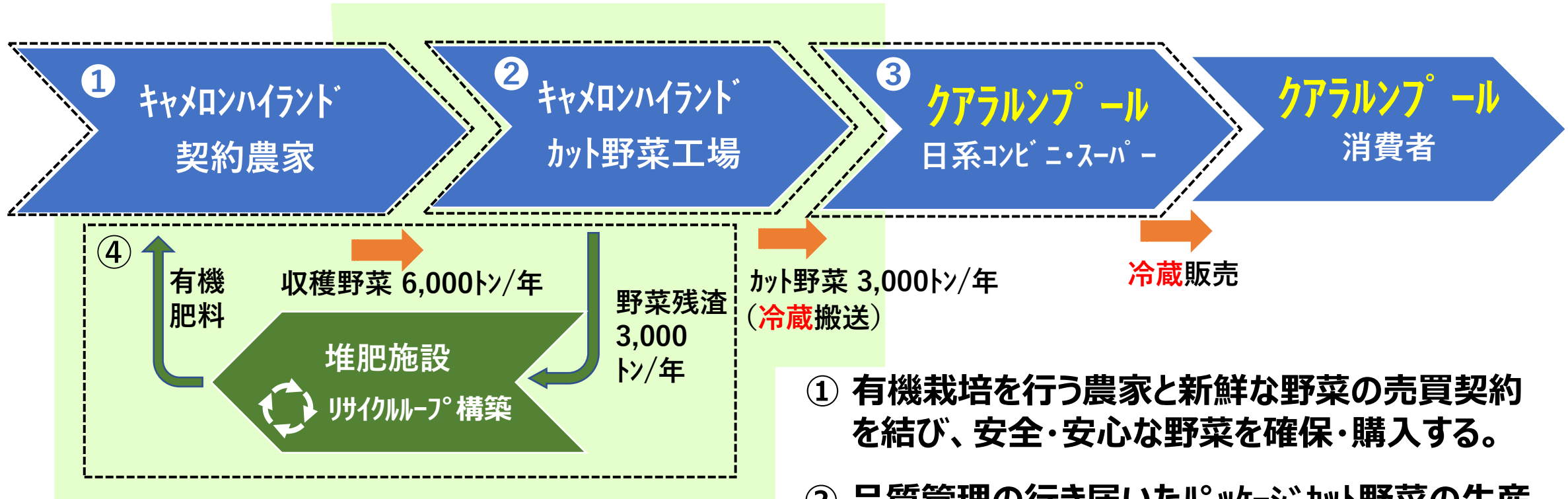
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SDG 2 食料の安定確保と栄養状態の改善を進め持続可能な農業を推進する
SDG 12 食料の廃棄を半減させ生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

ビジネス化に向けた取り組み

現地ビジネスの範囲



- ④ ハ°ッケー°カット野菜工場から出た野菜残渣は堆肥化施設に搬送し、全量堆肥化する。出来上がった堆肥は、①の契約農家に販売しリサイクル°を構築する。

- ① 有機栽培を行う農家と新鮮な野菜の売買契約を結び、安全・安心な野菜を確保・購入する。
- ② 品質管理の行き届いたハ°ッケー°カット野菜の生産工場を建設・操業、ハ°ッケー°カット野菜を出荷する。
- ③ 冷蔵輸送により製品を消費地（クアラルンプール）に搬送し、日系コンビニ・スーパー等へ卸す。

安全な野菜の安定確保と栄養状態の改善に資するサ°ライチェーンの構築

ご清聴ありがとうございました

株式会社ウエルクリエイト
松尾 康志

URL <https://www.well-c.co.jp>

E-mail info@well-c.co.jp